

RI第2510地区

留萌ロータリークラブ

会報

2012 ▶ 2013
WEEKLY REPORT



奉仕を通じて
平和を

田中作次

2012-13年度
国際ロータリー会長

留萌
ロータリークラブ
会長目標

ロータリーを楽しく・
学び・奉仕しよう

会長／山本讓二 幹事／森 幹雄

プログラム

●本日

来賓卓話「地域おこし協力隊」

大野 菜摘様・西岡 潤二様

会員誕生日

9月11日 辻本 哲也

9月11日 阿部 洋一

●次週予定

来賓卓話「留萌地域人材開発センターの役割」

兜 所長

No. 2525

第9回 9月5日

出席報告

前例会

会員総数	43名
出免会員	10名
出免出席	5名
基準会員出席	27名
出席率	74.41%

前々々会

第6回 8月8日

欠席会員	9名
内メイクアップ	3名
修正出席率	83.72%

例会／毎週水曜 12:15～13:15 留萌産業会館2F



会長報告

- 8月24日にそらぶちキッズキャンプに行つて参りました。留萌から海鮮バーベキューを提供し、渡邊パストガバナー(滝川RC)よりニコニコBOXを頂いて参りました。詳細については社会奉仕委員会より報告があると思います。
- 渡部会員が例会出席40年間100%を達成されました。地区大会にて表彰があると思いますが、皆様の拍手にてお祝いをしたいと思ひます。ちなみに昨年9月には平井会員が達成しております。おめでとうございます。



幹事報告

- 留萌市ゲートボール協会より、創始者杯の大会結果と礼状を受領しました。

ゲスト

国際ロータリー第2510地区

ガバナー 細川 好弘様(静内RC)

ビジター

国際ロータリー第2510地区第1グループ

ガバナー補佐 清水 陸様



委員会報告

社会奉仕委員会

辻本委員長

8月24日実施のそらぶちキッズキャンプに山本会長、森幹事、清水ガバナー補佐、森副会長、

田中会員、高橋会員、二ノ宮会員、遠藤会員、そして私の9名にて参加して参りました。田中会員の計らいにより、私辻本がシェフの衣装を纏い、焼き係を務めました。大変好評でした。ありがとうございました。

3分間情報

会員研修委員会 高田副委員長

1961年第3回(3月1日)例会会報より…
出席者18名、出席率69.2%、欠席者8名。連絡事項として、例会日における「君が代」の斉唱は毎月第1例会とする。今月より会員の誕生祝い実施の件、親睦委員会にて立案理事会検討する。各役員及び委員長は努めて他地区クラブの例会に参加して、任務などについて研究してもらいたい。などが書かれておりました。

【ミニ情報】

「2510地区の目標」

- ①ロータリーを新世代と共に未来に繋げよう。
- ②地域や世界に役立つ奉仕をしよう。
- ③今一度、親睦と友情を拡大しよう。

7月のことば「心技体」

命が心や体の動きに支えられている事は当然のことです。その充実した心を育む事によって健全な体が鍛えられ、その上で優れた技が生まれてくるものです。と自分に言い聞かせております。「奉仕を通じて平和を」もまず心からです。

ガバナー 細川 好弘 書

ニコニコBOX

- ・そらぷちキッズキャンプに参加して
渡邊バストガバナー
- ・ガバナー公式訪問、会員の皆様の協力ありがとうございました
山本会長
- ・本日はご苦勞様です
関野会員

前 回	220,000円
今 回	12,000円
累 計	232,000円

プログラム

「ガバナー公式訪問」

国際ロータリー第2510地区

ガバナー 細川 好弘様

桜は日本を代表する花ですが、桜をモチーフにデザインされたR Iの研修会資料を手に、国際協議会で幅広いプログラムを体験して参りました。世界中532地区のエレクト夫妻、役員等1600人以上のロータリアンと楽しい出会いと学び合いの機会に恵まれたことに、家内と共々感謝をしているところでございます。

ご案内のように、2012-13年度の国際ロータリー会長は田中作次さんであります。日本人として3人目、30年ぶりのR I会長であります。

田中作次R I会長さんの経歴につきましては、すでにご案内させていただいておりますので割愛をさせていただきますが、埼玉県八潮RCに所属され、ロータリー歴38年、R Iの理事、役員を歴任され、奥様とともにロータリー平和フェロシップ基金を設立する等、奉仕活動に献身されております。京子令夫人とは1963年にご結婚され、3人のお子さんと6人のお孫さんがいらっしゃいます。

さて、アメリカ・サンディエゴ市での国際協議会では、日本のR I会長ということで、国旗日の丸入場、そして国歌君が代が斉唱されました。引き続き、国際協議会の中でも一番注目される本年度のR Iテーマの発表です。田中R I会長は、ロータリーに入るまでの人生観がとても狭いものであったと述べ、ロータリーを体験して、人として職業人としてもっと良い、もっと高い目的を持って人生を送りたいと思うようになったとお話されました。そのために他の人たちの役に立つ事が自分にとって最も大切だと思い、そんな些細なことでも人を助ける事が、いずれは平和につながる事に気づき、「奉仕を通じて平和を」のテーマが誕生したのであります。

「奉仕を通じて平和を」このテーマは、ロータリー創立以来の考え方を簡単明瞭な言葉で訴えております。戦争という視点ではなく、家族、

地域社会での心の安らぎを求める、さらなる平和へ向けてのメッセージであります。

そしてこのテーマは、日本人だからこそ提起できる究極のテーマであると、本会議場は全員起立で大拍手が響き渡りました。さらに戦後の日本について、平和を重視した日本人としての心を開き、寛容を学び、もっと深く世界を理解するようになったことと、大震災の復興に努力する日本の紹介もしました。詳しくはロータリーの友7月号に掲載されておりますので、是非読んで下さい。

この崇高なR Iテーマを達成するための方向性として、田中R I会長は「国際ロータリー戦略計画」を全体のロードマップとすると決断されました。この戦略計画の図表はすでに周知されているところでありますが、クラブを次のレベルへと導く未来計画であります。

私達ロータリアンは、超我的奉仕を実践し、友情を深める親睦、異業種の集まりである多様性、高い道徳的水準を保つ高潔性、そして、優れた資質のリーダーシップ、組織のよりどころとして、世界理解、親善、平和を推進するとされておりまして、それを実践するための16の目標に支えられた優先項目として3つ上げています。

優先項目の1つ目「クラブサポートの強化」この目標は、ロータリアンになることの素晴らしさを伝えられるクラブ作りが新会員勧誘の要でもあります。クラブを強くするための7項目が示されております。次に「人道的奉仕の強化」この目標は、新世代奉仕等4項目が示されておりますが、地域と世界で多大な成果をもたらす、人道的・教育的プログラムが奨励されています。(ポリオ、未来の夢計画)、6つの重点分野(平和、疾病、水、健康、識字率、地域の発展)。3つ目が「公共イメージと認知度の向上」です。この目標は、公共イメージを高める5項目が示されておりますが、ロータリーの奉仕哲学を学び合って、公共イメージを高め、認知度の向上を目指すものであります。

毎年R I会長が交代し、各々違うテーマが採用され、「自分の年は」という考え方は時々見受



けられますが、ポリオ撲滅の実績のように27年に及び焦点を絞り、長い目で取り組みれば結果が見えてくるこの現実を見、平和についても同じような考え方の取り組みが成果として身近に近づく事になると思います。

以上簡単に申しあげましたが、ロータリアンが例会や奉仕活動を通じて、また職業や日常生活を通じて何を考え、どのように行動すればいいのか、その指針の一つがこの戦略計画であります。献身的なこの戦略計画をモデルとして、平和の道へと一歩一歩歩む事を田中会長は熱望しています。

CLP(クラブリーダーシッププラン)についてですが、この戦略計画とは整合性があり、クラブ活性化が目的であります。各クラブの会員数、歴史、地域の規模や経済基盤もまちまちでありますので、会員同士の信頼に結びつくように、クラブの実情にあった活性化策を検討された方が良いと思います。クラブの未来に関わる問題でありますから、柔軟に対応していただきたいと思います。地区では、CLP特別委員会を組織しております。何なりとご相談ください。

ご承知のように、ロータリーは1905年ポールハリスによって始められました。4人で始まったロータリーが、今では世界に120万人の大組織になりました。その基には創始者の方々の強烈な精神があり、ロータリーの基本があり、魅力があったから大発展につながったのであります。ポールは家庭的には不遇で、父母とは別れ、祖父祖母に育てられました。ただ部屋数が15位ある広い家だそうです。

ポールハリスが考える寛容の精神とは、これ

第8回 8月29日(水) 天候/晴

はロータリーが大発展を遂げるそのベースにこの寛容があったからだと伝えられています。例えば、失敗をした時の許しを乞うばかりでなく、思想も宗教も違う立場の人々が同じテーブルにつく事ができたら、どんなに素晴らしいことだろう。ポールハリスは人を非難する言動をできるだけ避けたと自分で言っていますが、その精神が人間社会の基本であり、平和への道だと述べています。

地区の話をしていただきますが、我が2510地区として既にPETS、地区協議会の中でもご案内をさせていただきましたが、基本的には田中作次RI会長のテーマ「奉仕を通じて平和を」にそって地区の強調事項として「心、家族、地域、世界に平和の恩恵を」とさせていただきました。田中作次RI会長が、平和は日常生活の簡単な方法の積み重ねが成し遂げるものだと、国際協議会でご指導をいただいたのでありますが、自らの心次第で平和に届くようなマインドコントロールを極め尽くすよう奨励されています。平和はまずロータリアンの心から、心が原点となって、家族、地域、世界に向かって発信されることを願って、強調事項とさせていただきました。

ガバナー月信7月号の表紙に書きました言葉、「心・技・体」ですが、この言葉は武道の世界で良く使われます。しかし、ロータリーにも、職業人にも求められている言葉でもあります。オリンピックでの日本の柔道の結果からも、心技体からの建て直しと叫ばれております。人の命は心と身体に支えられている事は当然のことです。その充実した心をコントロールする事によって、健全な体が鍛えられ、その上で優れた技、技能が生まれてくるものと信じております。ここで余談になりますが、私の職業柄、色に係わる情報の中から、私達が呼吸する息にも色があると研究発表した化学者がおります。その息の色ですが、精神状態が平常であるとき無色透明であるそうで、悲しんでる時は灰白色、恐怖におののいている時は青色、恥ずかしい時はピンク色、人を恨んで興奮の極みにある時は毒々しい栗色である事が報告されております。

これは特殊装置で息を粉末にすると色がわかるのでありますが、この毒々しい栗色の粉末は、毒薬より猛毒であったと発表されております。大辞典を開くと、命は「息の霊」とも解説されておりますが、日常の生活の中でも何かと心の葛藤があります。私達が呼吸をしている時、その息が無色透明に近づくようコントロールを極めつくしながら、平和の道へ進みたいものです。平和は先ず心から、誰もが自ら取り組めることであります。この心からの強調事項に続いて、地区の目標を3項目挙げさせていただきました。

一つ目は、ロータリーを新世代と共に未来に繋げよう。ロータリーの次の100年を創る若い息吹、新世代奉仕活動はロータリアン心からの投資であります。二つ目が地域や社会に役立つ奉仕をしよう。地域社会での小さな奉仕から力を合わせた大きな奉仕まで、五大奉仕と共にさらなる善意を届けていただくことが「平和」の道を歩む事になります。毎年あなたも100ドルを、ポリオ(2億ドルチャレンジ)、地球上からポリオが終結を迎えるまで、未来の夢計画と共に、財団、奨学金への協力を。三つ目が今一度、親睦と友情を拡大しよう。ロータリーに多くの仲間を勧誘し、平和を語り、楽しみ、親睦を深めることで友情という素晴らしい財産を拡大する事につながります。会員純増3%を期待しております。友人やロータリアンとしての有資格者の勧誘がクラブを強くする事になります。以上3項目を地区目標とさせていただきました。これは本年度のマニュアルとして山本会長年度のクラブ運営に活用していただいて、奉仕活動を楽しんでいただければと考えております。

2012-13年度平和フォーラムについてお話をいたします。田中作次RI会長は「奉仕を通じて平和を」のテーマを推進するために、3回の平和フォーラムの実施を計画しております。また、田中会長はロータリアンに対し、これらのフォーラムのうち、いずれか1つに出席し、ホノルルと広島市のフォーラムには、ロータリー青少年プログラムの代表者を送ること、特に広島会場には多数の参加者をお願いするとしております。また、クラブと地区で平和関連の活動を

実施するよう奨励しています。

平和フォーラムは、最初はドイツ・ベルリンにて「国境のない平和」として2012年11月30日から12月2日に開催され、平和を築き、国際理解と協力において人々が相互にかかわり合う機会を推進する上で、民主主義の役割を考察します。国家間の理解を推進する上での、国際共同委員会の功績と役割を紹介します。2回目アメリカ・ハワイ州ホノルルにて「平和にいたる緑の道」として2013年1月25日から27日まで開催され、平和の前提条件として、人類が共有する環境資源の保全と保護、および自然災害の影響の緩和の重要性に注目します。新世代を中心に若者たちによる平和ビジョンを育てていく事に焦点をあてます。3回目は日本・広島にて「平和はあなたから始まる」として2013年5月17日から18日に開催されます。私たち一人ひとりが日々の生活や地域社会での活動において、平和を推進する方法を考察します。未来志向のこの会議では、一人ひとりが今後どう貢献していかけるかを参加者に問いかけます。特に青少年の参加が求められます。

そのほか、平和運動の計画や「平和」をテーマとする討論を例会やIMで対応されるよう奨

励されております。2012-13年度に平和関連のプロジェクトを実施し、成功したクラブに対して、「地区平和賞」を贈ることも奨励されております。合わせて、効果的な奉仕活動等を実施されたクラブを表彰するために設けられた「会長賞」にもチャレンジしてください。「会長賞」は7月1日から3月31日までに実施完了し、報告提出することになっております。詳細はパンフレットで確認してください。

結びになりますが、田中作次R I会長は自分の生い立ちについて話し、自分と友人たちの人生が変わったのは恩師のお陰であり、その時私は「ワタシシダイ」という新しい生き方を見つけたと述べました。目標を立て、それを達成できるかどうかは、私たち次第です。人々が自力で生きていけるよう、助けられるかどうかは私たち次第です。「超我の奉仕」を実践し、「奉仕を通じて平和を」築けるかどうかは私たち次第です。と結びました。R I会長が日本人であることに、田中作次R I会長には世界中から期待が寄せられています。田中R I会長が描く平和への想い、そのデッサンをもとに着色をし、名画になるよう仕上げていくにはそれぞれ私たち、ロータリアン次第であります。ポールハリスの



第8回 8月29日(水) 天候/晴

自問自答「ロータリーとは何か」ではなく「何をしているのか」。もしロータリーがより寛容で、より他人の良さを認め、より他人の人と親しく交わり助け合えるなら、そして人生の美しさと喜びを発散し伝えるようにしてくれるなら、それが我々が求めるロータリーのすべてである。それ以上ロータリーに何を求める事があるのか。ポールハリス自叙伝抄録「我がロータリーへの道」より。

最後に地区大会のお話をいたします。地区大会は、10月13-14日に新ひだか町静内にて開催いたします。ローカルという事で大変不便をお掛けいたしますが、地域の特色を生かしたおもてなしを心掛けます。ぜひ会員皆様の出席をお願いします。田中作次RI会長も言っています。国際ロータリーの主役はあくまでもクラブであります。クラブにとってより良い年度となる事をお祈り申し上げながら、地区運営に温かいご理解とご協力をお願い申し上げ、意を尽せませんが私の講和といたします。ありがとうございました。

～クラブ協議会から～



例会プログラム【9月】

9月12日(水) 来賓卓話「留萌地域人材開発センターの役割」

兜 所長

9月19日(水) 来賓卓話「議会改革への取り組み」

留萌市議会 小野 議長